

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 7 日 (18 : 00 ~ 19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、多田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	10	0	0	10

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有に関して、「ケアコラボ」に入力した内容での共有では、見落としが多いため、短時間でも毎日ミーティングを開催し共有することとします。ミーティングリーダーを「午前入浴担当者」と決め14時から15分間、開催します。 共有内容に関しては、重要なものから共有し、その他の申し送りは「ケアコラボ」の申し送り欄で共有します。「ケアコラボ」に入力していない内容は発言者が責任をもってミーティング後に入力します。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員間で声掛けを行い毎日のミーティングをとおして情報共有することができました。介護記録ソフトが「ケアコラボ」から「ケアパレット」に変更になり、操作に慣れるまで時間がかかることから完全な電子機器への切り替えはできませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	10	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	10	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	8	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新規ご利用者の利用開始前に、日々の15分ミーティングや月初めに行う小規模会議時で、状態確認の情報を共有出来ました。 表情の変化を伺いながらご利用者と視線を合わせて声掛けを行い、気持ちに配慮した関わりをするよう心掛けました。 送迎時や入浴・訪問時に会話を通し、身体は勿論気持の状態観察を行い、変化や気づきは、ミーティング時報告し共有しました。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 介護記録のソフトが「ケアコラボ」から「ケアパレット」に変わり、ミーティングノートに記入はしているが、申し送りの入力を忘れてしまう事が増え、ミーティングに参加できなかった職員に、確実に伝えることが出来ませんでした。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 「ケアパレット」への入力に関して、ミーティング終了時にお互いに声掛けを心掛け、入力に自信のない職員は詳しい職員に聞くようにし、情報共有を「ケアパレット」で行えるようにします。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 7日 (18:00~19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、多田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	2	0	10

前回の改善計画

- ・「ケアコラボ」を通してだけの共有ではなく、今後時間を決めて行うミーティングで、小さな気付きも共有します。ミーティングノートは、気付いたことをいつでも書き込めるメモとして活用し、最終的なケアコラボへの記録漏れをなくします。
- ・意思表示の難しい方は過去の生活歴や好きなことも参考にして「したい」ことを引き出します。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・日々のミーティングを継続することで、利用者、家族からの声や状態の変化などを共有することができました。日々の変化についての情報が多く、利用者の「～したい」ことに関しての対応を考える時間はあまりとることができませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	4	6	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	5	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	8	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	3	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・自分の担当者のカルテの再確認をしました。
- ・ご利用者の「～したい」を把握できるように、送迎時や訪問時を利用し、家人との会話や独居の方は、お家にある物から話を広げるようにしています。
- ・その中で得た情報をミーティングで共有し、日々のレクレーションに取入れ、活動して頂くことが出来ました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自分の担当者以外の「～したい」への意識が薄く、情報の把握ができていませんでした。
- ・実践した内容を職員で話し合い、その後の対応の確認はしていますが、ミーティングノートを主にしてしまい、「ケアパレット」への入力ができませんでした。ノートの確認もすぐに行えないこともありました。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・月1回行う小規模会議で、担当利用者の気付きや「～したい」の声を話し合い、実現つなげるための対応を考えていきます。
- ・職員全員がケアパレットの機能を活かした操作ができるようにします。情報の記録をしっかりできる事により、利用者にとって適切なサービスが行えるようにします。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 7日 (18:00~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、多田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	3	0	10

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」については、普段の会話の中で、ご本人からお聴きするのはもちろんのこと、ご家族からの情報収集に努めます。主介護者がお嫁さんの場合、実の息子さん娘さんに文章で過去のことを記載して頂く協力も求めています。 ・本人の声にならない声の把握にも努め、ミーティングや「ケアコラボ」で共有します。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」については、送迎時や訪問の際にご家族との会話を行い、情報収集に努めましたが、文章で過去の事を記載して頂くまではできませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	6	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	9	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	2	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	9	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の家族からの声や、利用者とのかわりでの何気ない表情や声は職員間で共有をしています。 ・体調の変化に合わせ、ご利用者1人1人にあった介護方法を常に話し合い、その都度柔軟な支援を行うことが出来ました。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々色々と変化がある為、その日の様子・表情等の情報は入力できていますが、声にならない声は、口頭での話し合いのみになっていました。 ・「以前の暮らし方」は普段の会話の中でお聞きしていますが、「ケアパレット」への入力まではしていませんでした。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で「ケアパレット」の有効な活用方法を学び、利用者との会話の中で知り得た情報を口頭での報告ではなく記録に残します。ミーティングや会議に参加できなかった職員にもわかりやすい記録を行い情報のもれをなくすことで利用者に寄り添った対応ができるようにします。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 7 日 (18:00~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、多田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	1	9	0	10

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・防災マップは、引き続き、利用者・家族と一緒に作成していきます。・民生委員さんとの連携は大事であることから、区長さんに挨拶の上、民生員さんを教えて頂き、連携していきます。・その他、利用者の住む地域の方とも感染対策しながら少しずつ接する機会を確保していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・入所等でご利用者の入れ替わりが多くあり、防災マップは作成中です。・民生委員の把握は、限られた職員に任せてしまい、職員間での共有が出来ませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	4	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	5	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	3	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	7	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・送迎や訪問時は、感染対策を行いながら、家族に利用時の様子等をお伝えしています。なかなかお会いできない家族には、担当者より電話にて状態をお伝えしています。家族からもご利用されていない時の様子をお聞き出来るようにしています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・各ご利用者の民生委員や区長を把握している職員が限られていました。・利用者全員の地域ごとの情報収集が完成しておらず、地域資源の把握までできませんでした。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・引き続き、新規のご利用者・家族と一緒に、防災マップの作成を続けて行きます。・利用者1人1人の地域資源や社会資源の情報をより多く把握するため、「軒下マップ」の情報の変化の再確認を行い継続して取り組みます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 7日 (18:00~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、多田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	9	1	0	10

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで、変化に気づいたら確実に口頭でも共有を行います。 ・軒下マップを利用した情報収集は、ご家族にも協力を得ながら地域の社会資源も記載し、今後も継続していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のミーティングで、変化に気づいた際、口頭での情報共有が出来ました。 ・家族にも協力して頂き情報収集をし、「軒下マップ」の作成を継続しましたが利用者に合わせた情報の修正や活用はあまりできませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	4	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	4	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	8	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・朝の挨拶時に、ご利用者一人一人と会話をし、身体にも触れる機会を多く取り体調確認をしています。 ・利用者の体調の変化が見られた際は、直ぐに職員間で共有し、経過観察を行い、必要に応じて、ご家族や病院等との連携を行う事が出来ています。 ・ご利用者の身心の変化や、ご家族の要望等から、必要に応じて「通い」「訪問」「泊り」を柔軟に提供しています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・変化に気づいた際に口頭やミーティングノートでの共有は出来ているが、「ケアパレット」への入力をしている職員が限られていました。 ・「軒下マップ」は作成しましたが、新規ご利用者に対してや、作成後の見直しが出来ていません。 ・「軒下マップ」を作成する事で終了してしまい、活用ができていません。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ノートや口頭では、その場にはいない職員との共有が難しい為、「ケアパレット」の有効な活用法を学び、電子介護記録と、職員間で変化の共有手段に使うという意識を高めます。 ・新規ご利用者の「軒下マップ」作成と、再度マップの見直しをします。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 11月 10日 (18:00~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、多田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	5	0	10

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で、感染対策を行いながら、地域の住民や子供たちとの交流ができる、小規模ならではの企画を考えていきます。 ・職員の知識や技術の向上の為、リモートでの研修、会議等も積極的に参加していきます。 ・医療機関や関係事業所とは、課題が発生したらすぐ連携し解決に努めます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関や関係事業所との連携は、利用者の体調変化に応じ密に行えています。 ・知識や技術向上を目的とした研修や会議に、リモートを利用して参加しました。 ・小規模ならではの企画は少なかったですが、社会参加委員会を中心に、感染対策をしながら児童館・こども園・地域行事との交流を考え、実行出来ました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	6	3	1	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	3	1	6	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	2	6	2	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	1	6	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でできる範囲の中で計画を立て、保育園・児童館とプレゼント交換等の交流をすることが出来ました。 ・リモートで開催されている研修や会議に参加することが出来ました。 ・利用者と一緒に作成した「段ボール太鼓」を使用し、事業所駐車場から名水マラソンの応援に参加しました。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域の方との関わりが難しく、消防訓練や社会奉仕等は、事業所の職員と利用者のみで行いました。 ・少ないですが、事業所として交流は出来たのですが、小規模ならではの企画が立てられませんでした。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員の知識や技術向上の為、リモートでの研修、会議等に参加していきます。 ・社会参加委員会に任せるのではなく、小規模会議で、コロナ禍の中でも交流出来る「小規模ならではの企画」とは何かを話し合う時間を作り、感染対策をしながら実行していきます。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 11月 10日 (18:00~19:30)

7. 運営

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、多田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	9	1	0	10

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> みなさんから頂いた大切な声を運営に反映させるため、今後も声の集約シートを活用していきます。 声の共有は、資料の書面確認だけではなく、会議やミーティングで口頭での共有も行います。 コロナ禍だからこそ、感染予防対策を継続しながら、地域との協同した行事等の企画を行っていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 声掛けすることで、集約シートを活用することができました。以前に比べ、部門での会議や日々のミーティングは行えていました。時間にばらつきはありますが職員間の声掛けにより実施につながり、情報の共有を行うことができました。 地域との交流や行事などの企画をしましたが、コロナ感染防止のため実現することはできませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	8	2	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	3	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	6	4	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族からの意見や要望はミーティング時に報告し、対応を検討し情報の共有を行いました。会議では職員が利用者の気になりな事や業務改善の課題なども話し合うことができました。利用者との連絡は担当者が行う事としました。家族と会話することにより、利用者の情報共有を行う意識が高まりました。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域との協同した行事の企画を行っても、コロナの感染状況により中止になる事を先に考えてしまい取り組みとして消極的になってしまいました。 地域のイベント開催も少なく、計画が立てられませんでした。 地域や家族会などコロナの感染状況により、話し合う機会を作ることができませんでした。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 部門での毎月の会議や毎日のミーティングは継続します 感染防止対策は今後も継続しながら、地域のイベント活動の情報収集を行い、地域との交流を図りたいと思います。 感染状況を行いながら、家族会を行い家族からの声や要望を集約し今後の運営につなげたいと思います。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 11月 10日 (18:00~19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、多田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	2	3	10

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">外部研修については、スキルアップを目指すため、偏りなく参加できるよう調整します。内部研修については、「eラーニング」を継続し、人員体制に合わせて受講の調整を行い、全職員受講をめざします。オンライン研修で知り合った関係職員と研修後、関係づくりをめざします。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">今年度は介護福祉士を受講するための研修や認知症実践者研修など個人でのスキルアップを目指す職員が多く、職員調整が難しくなり、希望の研修に参加できない職員もいました。職場会議にて内部研修を行いました。ZOOMで参加できるようになったため、比較的多くの職員が参加することができました。オンライン研修ではグループワークが多いため自らの発信は難しく、関係づくりにつなげる事はできませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	1	2	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	3	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	4	3	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	3	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">内部研修は自前に勤務の調整を行っているため、ほとんどの職員が参加することができています。資格取得やスキルアップのために研修に参加できました。リスクマネジメントについては内部研修を行ったが、日々のミーティングや部門での会議でも必要に応じて事例検討を行うことができました。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">外部研修への参加に偏りが合った。資格取得に必要な研修でもあり受講者優先となりました。その年度によって違いがあります。コロナ感染予防のため、地域会議開催が少なくなりました。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">資格取得や必衰の研修に関して必要な職員は優先されるが、対象となる職員がいない時は、できるだけ多くの研修に参加できるよう職員体制の調整を行っていきます。コロナ感染予防により ZOOMでの研修も多くなったため、できるだけ多くの職員が研修に取り組める職場環境を整えていくようにします。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月10日(18:00~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、多田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	1	0	10

前回の改善計画
ご利用者へ尊厳の保持、プライバシーの保護、不適切なケアの防止のために、下記のことを順守します。 ・ご利用者の名前を呼ぶときは「ちゃん」付けをしない。 ・排泄介助中、必要物品を大きな声で依頼しない。 ・申し送りの際に、配慮すべき内容を職員間で話をしない。 ・その他、各自、適切な言葉遣い・行動を行います。
前回の改善計画に対する取組み結果
・「ちゃん」付けで呼ばれると喜ばれるご利用者に対し、他ご利用者の前でも、多々「ちゃん」付けでお声がけをしてしまう事がありました。 ・申し送りの際は、名前が分からない様イニシャル等にすることで配慮できています。 ・月初めに行う小規模会議で、日々の言葉遣いや行動について話しをし、意見交換を行っています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2	0	0	10
②	虐待は行われていない	7	3	0	0	10
③	プライバシーが守られている	3	7	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	0	0	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	2	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・内部研修でリスクマネジメント(個人情報)、身体拘束・虐待に関する研修を行い、小規模会議でスピーチロック(言葉の拘束)について話し合いを行いました。 ・言葉使い等の接遇は、お互いを意識し、職員同士で声を掛け合っています。 ・施錠できる書庫にて、個人情報の管理を行っています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・トイレ誘導や排泄介助の際に、介助中、大きな声で対応し、配慮が足りない声かけをしてしまいました。 ・フロア内に職員が少ない時、排泄介助中の必要物品等の依頼を大きな声でしてしまい、介助されている利用者の気持ちに対し配慮ができていませんでした。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者への尊厳の保持・プライバシーの保護・不適切なケア防止のために、下記の事を順守します。 ・利用者に声変える際は、慣れ親しんだ声掛けではなく、「～さん」と呼びます。 ・排泄介助中、必要物品を頼む時は、先に職員を近くに呼んでから頼みます。 ・ミーティングや利用者の情報伝達の際はご利用者が見守れる範囲の離れた場所で行うことを継続します。